

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月18日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【協力企業への個人情報を含むメール誤送信について】 個人情報を含むファイルを誤って元請企業にメール送信。メールを受信した元請企業複数社からの電話により誤送信を確認。 誤送信してしまった個人情報の提供元に対して電話にて状況説明。当該個人情報の削除を依頼。 その後、確実に当該個人情報の削除を実施したかの確認を実施。</p>	G II
2	<p>【1号機炉心スプレイ系注入ライン流量計の故障について】 1号機炉心スプレイ系注入ライン流量計の点検時に、計器として要求されている誤差を超えていることを確認。 調査の結果、計器単体の故障と判断。 当該計器を交換予定。 なお、原子炉への注水については他の計器で監視が可能。</p>	G III
3	<p>【既設多核種処理設備(A)(C)クロスフローフィルタA入口流量計フランジ部の水のにじみについて】 既設多核種処理設備(A)(C)クロスフローフィルタA入口流量計のフランジパッキン部より水のにじみを確認。 現在、フランジ下部の養生を実施し運転を実施している。 また、当該流量計は既設多核種処理設備建屋内に設置しており、受けパンが設置されている。</p>	G III